

I. 基盤整備センターの概要

1. 設立の目的と業務概要

(1) 目的

近年の少子高齢化や産業構造の変化、グローバル化等社会経済環境の変化を背景に、労働力の需給両面にわたる構造的な変化が著しく進展する中、持続可能な活力ある経済社会を構築するため、若年者、女性、高齢者、非正規労働者を含め一人一人の能力を高めることが必要となっている。

このような社会の課題に応じるため、基盤整備センターは、職業能力開発の実践に必要な調査研究、教材・訓練コース等の開発及び訓練技法・評価等の開発を体系的に行い、併せてここに蓄積される各種職業能力開発に関する情報を発信していくことを目的としている。

(2) 平成27年度業務の概要

イ. 企画調整部

企画調整部には2課1室があり、次のような活動を行った。

- ① 企画調整課では、基盤整備センターの運営方針等の企画調整の業務を行った。
- ② 普及促進課では、「技能と技術」誌、「職業能力開発報文誌」を編集・発行するとともに、基盤整備センターの調査・研究、開発成果を全国の職業能力開発施設等に対して広報・普及を行った。また、「職業大フォーラム2015（第23回職業能力開発研究発表講演会）」を開催した。
- ③ 職業訓練教材整備室では、情報発信システム「基盤整備センターホームページ」（<http://www.tetras.uitec.jeed.or.jp/>）を刷新し情報提供を行った。また、当室では職業能力開発論文コンクールの審査業務も行った。

ロ. 開発部

開発部には5開発室があり、次のような活動を行った。

- ① 高度訓練開発室では、高度職業訓練（専門課程・応用課程等）のカリキュラムの精査等を行うとともに、「分野別実践的カリキュラムの設定に係る基礎研究（高度職業訓練）—平成27年度繊維・繊維製品、物流、サービス、食品、化学分野（専門課程）—」（職業訓練基準の見直し）を行った。
- ② 在職者訓練開発室では、在職者訓練コースのカリキュラムの精査等を行うとともに、「若年非正規雇用労働者に対する在職者訓練コースの設定、実施プロセスに関する調査研究」並びに「離職者訓練、在職者訓練の実施に係る人材ニーズ及び人材育成ニーズの把握」を行った。
- ③ 教材開発室では、普通職業訓練（普通課程）用教科書4点（機械工学概論、機械材料、電気製図、電気機器）の改訂、「分野別実践的カリキュラムの設定に係る基礎研究（普通職業訓練普通課程）—電気・電子、情報・通信、非金属加工、繊維・繊維製品分野—」（職業訓練基準の見直し）、「分野別実践的カリキュラムに係る評価の水準に関する基礎研究（普通職業訓練普通

課程) — 塗装科、造園科 —」(技能照査の標準問題、職業訓練指導員試験の基準問題の作成)を行った。

- ④ 訓練技法開発室では、離職者訓練に必要なカリキュラムの精査等を行うとともに、「女性求職者等の特性を考慮した離職者訓練に関する調査研究 — ものづくり分野へ進出するための離職者訓練カリキュラム開発 —」「離職者訓練の実施に係るシステム・ユニット訓練用テキストの開発」、「離職者訓練用訓練課題の開発等に関する調査研究」、「ICTを活用した指導技法・技能向上システムに関する調査研究」並びに「求職者支援訓練における効果的な助言・相談援助等に関する調査研究」を行った。
- ⑤ 調査開発室では、「総合的かつ体系的な職務分析の推進に関する調査・研究・開発(「職業能力の体系」の整備等)」(型枠工事業、食品機械・同装置製造業、包装・梱包機械製造業、配電盤・制御盤製造業)並びに「eラーニング等を活用した離職者訓練の可能性の調査」を行った。
- ⑥ 5 開発室において、地域の開発機関の協働(地域レベルのコンソーシアム)による職業訓練のコースの開発及び検証の実施を支援した。